

# 1月のどきどき

## 初せり

1月6日南北北海道家畜市場（早来新栄）で初せりが行われ、道内外から集まった仲買業者や肥育農家が一本じめにより威勢よく今年一年の始まりを告げました。

枝肉市場価格の低迷が続く中、千頭近い黒毛和牛が出場した初日の平均取引価格は、昨年を1万3千円以上上回り、うさぎ年にちなんで価格もはねて欲しいと願う関係者にとってまずまずのスタートでした。

瀧町長は挨拶で、今年同会場で行われる全国共進会の成功や、継続した防疫体制の強化に協力を呼び掛けました。



## 交通安全を願って

1月9日早来神社で交通安全祈願祭が行われました。

昨年11月には町内で交通死亡事故が発生しており、集まった事業所の代表ら50名は誓いも新たに交通安全祈願を行いました。

昨年は道内で215名の方が犠牲となり、特に65歳以上の高齢者や歩行者の事故死の割合が高い傾向にあります。慣れた道であっても、歩行者も運転者も日ごろの交通安全の意識は大切なことです。



## 光って不思議

1月18日早来小学校でほくでんが主催したおもしろ実験室が行われ、町内の小学生19名が光の正体や不思議を探りました。三角プリズムに太陽光を通して七色の光を映し出したり、簡易分光器を用いて光の波長などについて学んだあと、三角すいを使った万華鏡を作りなども体験。

学校の授業とは違う雰囲気の中で開催された実験室は、子どもたちの探究心をかき立てていました。



## 豆腐づくり教室

地元で収穫される農産物を直売などで購入する機会を増えているとは思いますが、町内で収穫量の多い大豆や麦などを活用する機会は少ないと思います。

農林課では地産地消などを目的に、町民の方への安心・安全な農産物と、食の「おいしさ」を伝えるための各種事業を実施しています。

1月21日農産物加工研究センターに集まった参加者の中には、ピーターも多く「家でも作って見たがこままうましくない」と話している方もいました。

今回は「ポプリの会」の協力で町内で収穫された「ユキホマレ」（白大豆）を使つての豆腐づくりでしたが、今後は「みそづくり」なども企画していますので一度体験してみませんか。



## 自治会が支えます

地域住民の参加と協力により支えあうことや、日ごろから交流の機会をもったり広報の配布にあわせて定期的に声かけ運動をおこなったりする福祉サポートの取り組みをしらかば自治会（早来）で始めました。

11月頃から防犯、防災の啓発を行い手助けを必要とする方の名簿作りをはじめ、目玉事業の除雪サービスのために除雪機を自治会で購入。12月の降雪時より運用を開始しています。

現在は役員や班長さんが中心となり活動していますが、今後は会員の協力体制をもつと拡大し実施する予定です。

